

取扱いの趣旨

アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤の効能・効果より、「高血圧又は狭心症」か「高コレステロール血症又は家族性コレステロール」のいずれか一方の傷病名のみでの算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年10月31日》

332 アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤の算定について

○ 取扱い

次の傷病名に対するアムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤（カデュエット配合錠等）の算定は、原則として認められない。

- (1) 高血圧症又は狭心症あり、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症なし
- (2) 高血圧症又は狭心症なし、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症あり

○ 取扱いを作成した根拠等

アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤は、アムロジピンベシル酸塩とアトルバスタチンカルシウム水和物の配合剤であり、添付文書の効能・効果に、アムロジピン及びアトルバスタチンによる治療が適切である「高血圧症又は狭心症と、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症を併発している患者」に使用する旨示されている。

以上のことから、「高血圧症又は狭心症あり、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症なし」、「高血圧症又は狭心症なし、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症あり」の傷病名に対するアムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤（カデュエット配合錠等）の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

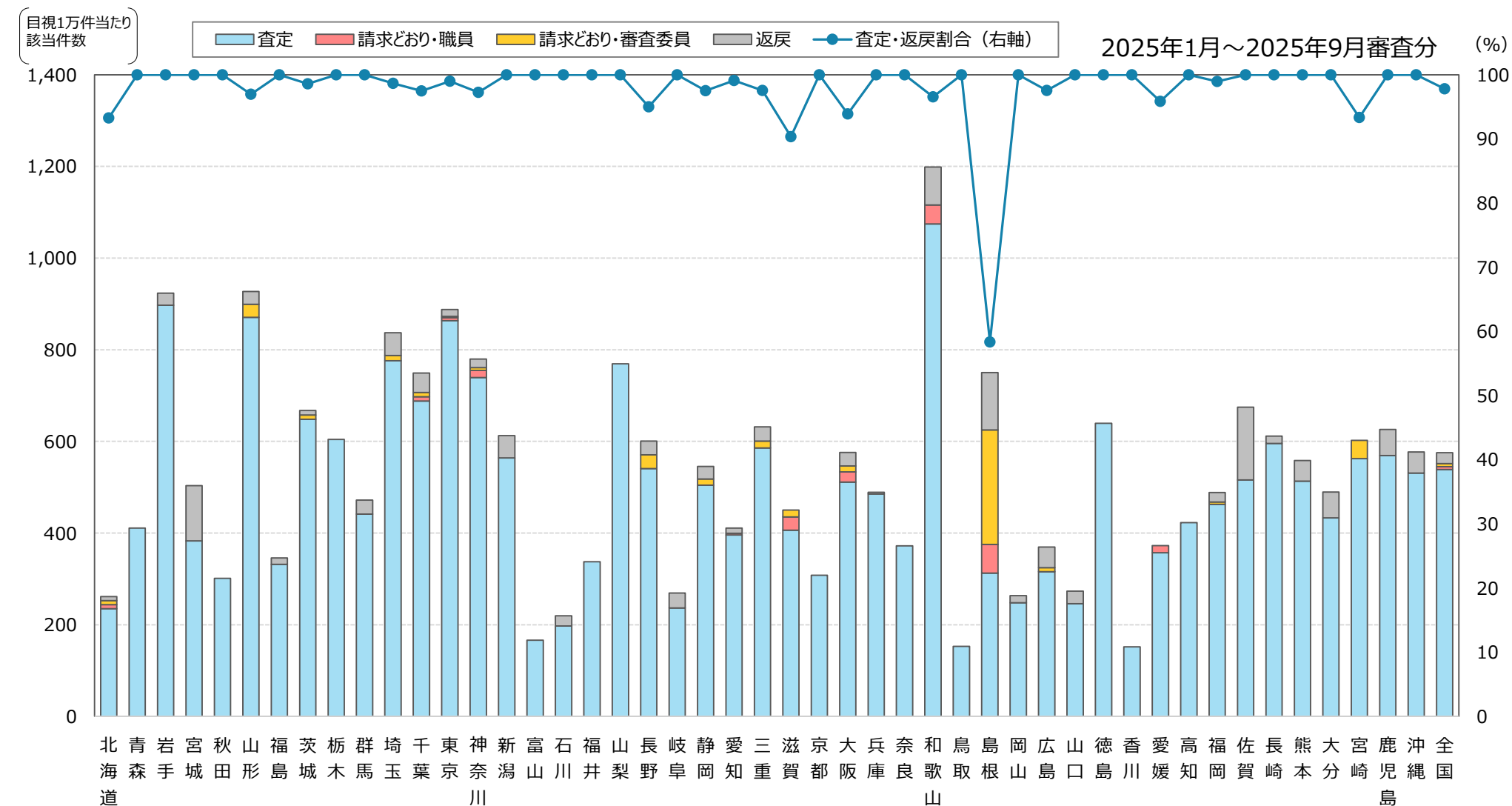
| | | |
|-------------|---------------|----------|
| 査定 | 返戻 | : 取扱いどおり |
| 請求どおり 職員 | 請求どおり 審査委員 | : 検証が必要 |

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 97.80%
- 検証対象都道府県 1

| 検証観点 | 都道府県 | 備考 |
|------------|------|----------------|
| 査定・返戻割合が低い | 島根 | 査定・返戻割合の低い順 |
| 請求どおり・職員 | 島根 | 対象1万件当たり件数の多い順 |
| 請求どおり・審査委員 | 島根 | // |

| 該当件数（全国） | 【条件】 | 2,995件 |
|------------|---------|--------|
| 取扱いに基づく審査 | 査定・返戻の計 | 2,929件 |
| 検証を必要とする審査 | 請求どおり | 66件 |



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数